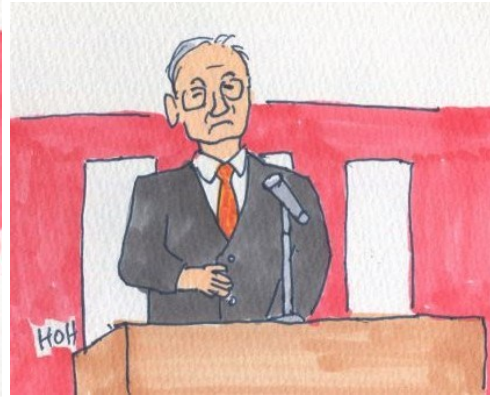


センター病院の改築は待ったなしの状態

市議会厚生常任委員会は20日、上越地域医療センター病院を訪れ、老朽化の実態などを把握するため、調査を行いました。母が通院していた病院でもありますので私も参加したかったのですが、感染症対策で参加は厚生常任委員のみとなりました。

調査結果は日本共産党議員団所属の平良木委員から聞きました。雨漏り対策で天井裏にトレー（受け皿）を置いてあったとか、トイレが下水臭く、カビだらけとなっているなど思っていた以上に老朽化が進んでいるのにはびっくりでした。同病院は築50年を超えて、もう限界ですね。これでは患者も病院スタッフも切ない気持ちになるのは当然です。

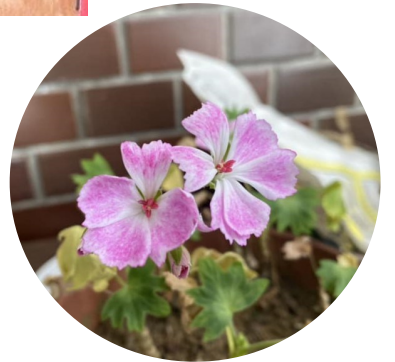
12月議会で中川市長は改築を先送りする方針を示しましたが、一時も早い改築が必要です。イラストは現地調査の様子です。



コウノトリと共生する地域づくりを

市内各地で新年を祝う会が開催されています。このうち吉川区新年を祝う会には約50人の人たちが集まり、新春を祝い、交流を深めました。オープニングは大正琴の会のみなさんによる「きよしのズンドコ節」と「川の流れるように」の素敵な演奏でした。イラストはその演奏です。

来賓挨拶で中川市長は吉川区の昨年に触れながら、合併20周年など新年の動きについて語りました。私は昨年の吉川区におけるコウノトリの営巣とヒナの誕生についてふれ、コウノトリが吉川区を営巣地を選び、4羽のヒナが無事巣立った背景には、長年にわたる5割減減など環境保全型農業の取組があったこと、そして、コウノトリを温かく見守るやさしい人たちが大勢いたことがあるとのべました。最後に、コウノトリと共生し、魅力ある地域づくりをしていきたいと思いますと呼びかけました。




吉川区で再び繁殖か

昨春、4羽のヒナを育てた特別天然記念物・コウノトリのペアがいま、昨年作った巣の手直しを本格化させています。

このペアは冬になっても吉川、柿崎、大湊などにいました。すでに繁殖期に入った模様です。巣に近づくことなく静かに見守り、今年もヒナを誕生させたいものですね。

【テンジクアオイ属】フウロソウ科に属する植物。漢字で「天竺葵属」と書きます。調べてみたら、ゲンノショウコもこの仲間です。また、果実には円錐状の突起があり、コウノトリのくちばしに似ているとのこと。これは面白い。花は白、赤、ピンクなどいろいろ。花言葉は、「真の友情」「信頼」「君ありて幸福」など。写真は1月17日、吉川区小苗代にて撮りました。



江藤俊昭教授が講演

17日の議員勉強会で、大正大学地域創生学部の江藤俊昭教授から「議会からの政策サイクル」というタイトルで講演していただきました。

同教授は、「議員も議会も4年サイクルで計画を立てるべきだ」「議会と地域協議会は協議することを制度化した方がいい」と、住民目線で活動してほしいと訴えました。

江藤教授は、講演で「真の友情」「信頼」「君ありて幸福」などの花言葉について話しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2189 2025.1.26

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八三六回 四角形を作って

先日の午後、用があつて長峰温泉ゆつたりの郷に行った際の帰りのことでした。

温浴施設に併設されているゲートボール場のそばを通ったとき、何とはなしに場内を見たら、私と同じ町内会のM子さんとHさんの姿が見えました。中には入らず、ガラス越しに手を振っただけなんです。Hさんは私に気づき、笑顔で応えてくださいました。

ドラマはその数秒後に起きました。私はHさんにもう一度手を振り、駐車場に向かって歩き始めていました。そのとき、ゲートボール場の入り口付近から私に向かって声がかけられたのです。声の主はAさんです。よく覚えてはいませんが、「おらちのおっかさのこと、OOOくんになってありがとね」と言われたのです。雨が降っていたこともありませんが、その「OOO」がよく聞き取れませんでした。私の顔が「えっ、何ですか」といった表情になっていたのですね。Aさんはすぐに両手を使って四角形を作ってくださいました。

それですべてがわかりました。数日前、活動レポートに載せている「春よ来い」にAさんのお連れ合いのことをちよっぴり書いていました。ですから、良く聞こえなかった言葉も入ると、「おらちのおっかさのこと書いてくんなんてありがとね」という言葉だったのです。Aさんは、わざわざお礼の言葉を私にかけてくださったのでした。

手を使ったジェスチャーで四角形を作った、私に話しかけてくださったケースは今が初めてではありません。これまで、ずいぶん多くの人たちが四角形を作ったに声をかけてくださいました。

例えば、吉川区原之町のMさん、「春よ恋」というエッセイを書いたとき、朝の早い時間帯に私を見つけ四角形を作ってくださいました。また、訪問活動をしていると

きに、「おまんのアし、読ませてもらっているでね」と言われて四角形を作ってくださいる人が何人もおられます。昨春、大島区岡のNさん宅を訪ねた時もそうでした。

「四角形」は私が毎週発行している活動レポートのことです。大きさはB4サイズで長方形です。毎週発行にしているから四十年経っていますので、けっこう多くの人たちから読んでいただいています。ただ、「活動レポート」という名前は覚えにくいのでしようね。多くの人たちは、「おまんのピラ」とか「春よ来い」などといった言葉で呼んでくださいます。それらの言葉がすぐに出て来なくなった場合はどうするか。そのときが「四角形」の出番なのです。長年にわたり私の活動レポートを読んでくださる方と私とは四角形を作るだけで、何を伝えたいかがわかる関係が成立しているのです。ありがたいことです。

「四角形を作る」話を書いていて思い出したのは、NHKテレビのクイズ番組・「ジェスチャー」です。私が中学、高校に通っていた頃の番組でした。たしか、柳家金語楼さんや水の江瀧子さんなどが出演していたように思います。

当時はテレビが入ったばかりで、自分の気に入った番組は欠かさず見ていました。「ジェスチャー」もそのひとつでした。身振り手振りで問いかけに回答するものだったと記憶していますが、子どもながらに「よく言葉を出さないで、表せるもんだな。すごい表現力だ」と思ったものです。

私はもうふた月ほどで七〇代の半ばに到達する人間です。最近では人の名前がすぐ出て来なくなつて、それだけで一日中悩むことが多くなりました。物の名前もそうです。でもそうしたとき、ジェスチャーで伝えると見事にわかつてもらえることが何度かありました。高齢になるほど、ジェスチャーの力がつくのかも知れません。

寒ぶりまつりは大盛況

久しぶりに寒ぶり祭りに行ってきました。

会場の佐渡汽船ターミナルでは、日ごろからお世話になっている音楽グループの「クレア」、「ピアス」の皆さんの歌を楽しました。また、海洋高校の2年生によるアンコウの解体ショーを初めて見ました。



「あんこうのワつの道具」を一つ一つ紹介しながらの解体はとても勉強になりました。イラストは「ピアス」の皆さんの演奏です。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月15日(水)	1月22日(水)
上越消防署	0.053	0.056
上越南消防署	0.050	0.040
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.053	0.057
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.047	0.043
名立分遣所	0.060	0.057
高士分遣所	0.057	0.053

「かちやの歌」、YouTubeにアップしました

コミュニティバンド、「ピアス」の皆さんから協力していただき、「かちやの歌」をYouTube動画に載せることができました。動画作成にあたっては、演奏を「ピアス」のみなさんが



やってくださり、編集はピアスのmacoさんが担当、私はイラストを描きました。ぜひご覧ください。



上のQRコードにスマホのカメラを向けると、「かちやの歌」の動画につながります。極めて簡単です。お試しください。

春よ来い

第八三六回 四角形を作って

先日の午後、用があつて長峰温泉ゆつたりの郷に行った際の帰りのことでした。

温浴施設に併設されているゲートボール場のそばを通つたとき、何とはなしに場内を見たら、私と同じ町内会のM子さんとHさんの姿が見えました。中には入らず、ガラス越しに手を振つただけなんです。Hさんは私に気づき、笑顔で応えてくださいました。

ドラマはその数秒後に起きました。私はHさんにもう一度手を振り、駐車場に向かって歩き始めていました。そのとき、ゲートボール場の入り口付近から私に向かって声がかけられたのです。声の主はAさんです。よく覚えてはいませんが、「おらちのおっかさのこと、OOOくんになっていこうか」と言われたのです。雨が降つていたこともありませんが、その「OOO」がよく聞き取れませんでした。私の顔が「えっ、何ですか」といった表情になっていたのですね。Aさんはすぐに両手を使って四角形を作つてくださったのです。

それですべてがわかりました。数日前、活動レポートに載せている「春よ来い」にAさんのお連れ合いのことをちよっぴり書いていました。ですから、良く聞こえなかつた言葉も入れると、「おらちのおっかさのこと書いてくんなんてありがとね」という言葉だったのです。Aさんは、わざわざお礼の言葉を私にかけてくださったのでした。

手を使ったジェスチャーで四角形を作つて、私に話しかけてくださったケースは今が初めてではありません。これまで、ずいぶん多くの人たちが四角形を作つて私に声をかけてくださいました。

例えば、吉川区原之町のMさん、「春よ恋」というエッセイを書いたとき、朝の早い時間帯に私を見つけ四角形を作つてくださった。また、訪問活動をしていると

きに、「おまんのアし、読ませてもらつていてね」と言つて四角形を作つてくださる人が何人もおられます。昨春、大島区岡のNさん宅を訪ねた時もそうでした。

「四角形」は私が毎週発行している活動レポートのことです。大きさはB4サイズで長方形です。毎週発行にしてから四十年経つていますので、けっこう多くの人たちから読んでいただいています。ただ、「活動レポート」という名前は覚えにくいのでしようね。多くの人たちは、「おまんのピラ」とか「春よ来い」などといった言葉で呼んでくださいます。それらの言葉がすぐに出て来なくなつた場合はどうするか。そのときが「四角形」の出番なのです。長年にわたり私の活動レポートを読んでくださる方と私とは四角形を作るだけで、何を伝えたいかがわかる関係が成立しているのです。ありがたいことです。

「四角形を作る」話を書いていて思い出したのは、NHKテレビのクイズ番組・「ジェスチャー」です。私が中学、高校に通つていた頃の番組でした。たしか、柳家金語楼さんや水の江瀧子さんなどが出演していたように思います。

当時はテレビが入つたばかりで、自分の気に入つた番組は欠かさず見ていました。「ジェスチャー」もそのひとつでした。身振り手振りで問いかけに回答するものだったと記憶していますが、子どもながらに「よく言葉を出さないで、表せるもんだな。すごい表現力だ」と思ったものです。

私はもうふた月ほどで七〇代の半ばに到達する人間です。最近では人の名前がすぐ出て来なくなつて、それだけで一日中悩むことが多くなりました。物の名前もそうです。でもそうしたとき、ジェスチャーで伝えると見事にわかつてもらえることが何度かありました。高齢になるほど、ジェスチャーの力がつくのかも知れません。

寒ぶりまつりは大盛況

19日、久しぶりに寒ぶり祭りに行ってきました。会場の佐渡汽船ターミナルは、寒ぶりの刺身やあんこう汁などを求める人たちが賑わいました。

このイベントは食がメインですが、祭りを盛り上げようと、保倉川太鼓、上杉おもてなし武将隊、音楽グループの「クレア」、「ピアス」なども参加しました。

私が会場に着いたのは午前11時20分頃です。まずは「クレア」の皆さんのよる中島みゆきなどの歌を楽しみました。次は、県立海洋高校2年生によるアンコウの解体ショーです。これは初めて見ました。「あんこうの7つの道具」(7つの食べどころの部位)を一つひとつ紹介しながらの解体はとて勉強になりました。「ピアス」の皆さんは「能登半島」「佐渡おけさ」などを力強く演奏し、祭りを締めくくりました。イラストは「クレア」「海洋高校2年生」「ピアス」の順。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月15日(水)	1月22日(水)
上越消防署	0.053	0.056
上越南消防署	0.050	0.040
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.053	0.057
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.047	0.043
名立分遣所	0.060	0.057
高士分遣所	0.057	0.053